

「小中学校の交流を図る中で、地域の様子や子どもたちの様子を知り、  
連携して塩山中学校区の子どもたちを育てていこう」

## I 主題設定の理由

「地域で子どもを育てよう」の考えをもとに地域に開かれた学校づくりが進められている現在、学校現場においても小学校・中学校の連携の必要性が高まり、連携が進められてきている。塩山中学区ブロック交流研究会においても、小学校・中学校の教職員が共通理解を深め、同一の課題意識のもと、子どもたちの育成にあたる必要がある。そのため、小学校・中学校の交流を進め、地域や子どもの様子を知り、教育活動を実践していく。

## II 研究の具体的内容

### 1. 第1回ブロック交流研究会 「学習会」

(1) 日時 8月2日(金) 13:30～16:00

(2) 目的 エンカウンター、ソーシャルスキルトレーニングについての理解を深め、学年や学級経営に役立てる。

(3) 内容

学習会 「学級づくりのための教育カウンセリング」  
～構成的グループ・エンカウンターを取り入れて～

講師 長尾雅裕先生 (甲州市カウンセラー)

(4) 成果等

甲州市の「確かな学力育成プロジェクト」と関わり、今後の取組に非常に役立つ内容であった。前半は講義、後半は演習を行い、小中共通して具体的なエンカウターの手法を学ぶことができて良かった。また、1回目のQ-Uの結果を踏まえ、演習で学んだことを今後の実践に生かせるように頑張っていきたいという声も出された。

### 2. 第2回ブロック交流研究会 「奥野田小学校授業公開及び研究会」

(1) 日時 11月13日(水) 14:00～16:30

(2) 目的 奥野田小学校の授業の様子を他校の教職員が参観し、児童の様子を確かめたり、適切な指導方法について考えたりする話し合いを通し、塩山中学校区の児童・生徒の課題を明らかにし、連携した教育実践を進める。

(3) 内容

ア 奥野田小学校の授業の様子を参観する。

イ 低・高2つの分科会に分かれて授業内容や柱立てした話し合いを通し、適切な指導方法や課題点について検討する。

#### (4) 成果

授業参観後、分科会での話し合いを通し、塩山中学校区の児童・生徒の様子や課題点、各校で重点的に取り組んでいることへの理解が深まった。また、挨拶や学習規律、生活規律など小中で共通に取り組むことの確認等、連携すべき部分の共通理解が図れた。

### 3. 第3回ブロック交流研究会 「塩山中学校授業公開及び学習会」

(1) 日時 1月22日(水) 14:00～16:30

(2) 目的 塩山中学校の授業の様子を小学校の教職員が参観し、情報交換等の交流を図る中で、塩山中学校区の課題を明らかにし、連携した教育実践を進める。また、その方法の1つとして心理教育プログラムを学ぶ。

#### (3) 内容

ア 塩山中学校の授業の様子を参観する。

イ 講演 「ソーシャルスキルとエンカウンターの実践②」

講師 品田笑子先生 (都留文科大学)

#### (4) 成果

塩山中学校の「あいさつ」「学習規律」が素晴らしく、小中で連携すべき部分の共通理解と確認ができた。講演会では、集団づくりに有効なスキルを演習を学習することができた。

## II 成果と課題

### 1. 成果

・小学校(奥野田小)、中学校(塩山中)の授業参観を行い、児童・生徒の様子を確かめたり、研究会の場で情報や意見を交換したりしたことが、ブロックの研究テーマである連携して子どもたちを育てていくことに役立った。「地域の子どもの育成」という視点で話し合うことで、それぞれの立場を理解し、共通の土台を確かめた上で指導法を考えることができた。

・2回の学習会において、小中で同一の集団づくりのための手法を学習したことで子どものスキルの向上に向けて、9年間のスパンの中で取組がなされることになり、有効であった。

### 2. 課題

・今年度は甲州市の「確かな学力育成プロジェクト」や塩山中学校のパイロットスクールに事業に関わる学習会や研究会もあった。ブロック交流研究会は独立したものだが、重複している部分が多かったという意見があったことから、内容の検討をしていく必要がある。

・学習会は有意義だったが、小中で情報を交換する時間が少なかったという意見があった。また、1回目から児童・生徒に関する情報や学習指導について深められたらよいという要望もあった。

(ブロック長 武井麻子)